

平成30年（年度）事業報告書

1 事業の成果

第2期は、13名の利用会員（内、第1期から継続5名）でした。有料講座は開催せず、利用会員には全て無料にし、会場を借りて開催するスタイルからインターネットを利用したオンライン講座やセミナーに切り替え、ビジネスに必要なパソコン、決算他のスキルを習得しやすくし、ビジネスに即活用できる環境を整えました。

■オンラインのメリット

- 忙しい合間に自宅や職場からでも受講できる
- 内容を録画でき、後から何時でも見ることができる
- 移動時間が不要
- 交通費が掛からない
- リモートデスクトップ（遠隔操作）やファイル共有などが使え、会場に居るのと同じ

■開催した主な講座

- 経理事務、確定申告
- Word・Excel・PowerPointの使い方
- ホームページ作成
- 効果的なブログの書き方
- アクセス解析
- 写真・動画作成
- チラシ作成

昨年3月に起業した2名は、順調にビジネスをスタートさせ、ホームページの作成やSNSの活用、経理事務、決算（確定申告）などのサポートを伴走して行いました。

特に、1名は国と県の補助金申請が通り、三島商工会議所主催のビジネスコンテストにも応募し、惜しくも入賞には至りませんでした。意欲的にビジネスに取り組んでいます。そのすべてに伴走型で支援できたと思っています。

第1期に開催した「経産省認定創業スクール」は、主催者から申込み要請がありましたが、三島商工会議所と沼津商工会議所でも開催予定と聞いていたので、開催しませんでした。市はじめ、行政や公的機関による起業講座が数多く開催されていますので、第2期は会員伴走型に徹し、中身を濃くして会員サポートに努めました。このスタイルは今後も継続して行こうと考えています。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①起業家を育成する事業	起業及び経営相談(随時受付・無料)	通年	メール、電話、対面(カフェ&スペースほとり)	1人	利用会員 一般3人	4
②企業経営者向け経営全般に関する教育事業	オンライン(無料)講座・セミナー	通年	各々自宅や職場から参加	1人	利用会員	28
③地域活性化促進事業	「イベント開催アシストプロジェクト」 会員が主催するイベント(セミナー、講座、体験会など)のネットを使った告知広告活動と実施のためのセミナー開催及びアドバイス	通年	—	1人	利用会員	0
④普及啓発事業	ホームページ作成、ブログ掲載、SNSを利用によるビジネス情報、スキルアップ情報を配信	通年	—	1人	全会員 及び 一般	4
⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業	会員親睦会	5月14日	居酒屋団欒(沼津)	2名	正会員 賛助会員 利用会員	0

- \* 1 「事業の実施に関する事項」は、事業ごとにそれぞれの項目を記載する。
- 2 「受益対象者の範囲及び人数」は、具体的に記載する。
- 3 2(2)は、定款に「その他の事業」の記載がない場合には不要。
- 4 定款に掲載している事業で報告書に掲載していないものは、その理由を記載する。

### 30年度 活動計算書

30年4月1日から31年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人 ACSアシストコミュニティ静岡

(単位：円)

科 目		金 額	
I	経常収益		
1.	受取会費		
	利用会員入会金	35,000	
	利用会員受取会費	131,000	166,000
2.	受取寄附金		
	受取寄附金		
	施設等受入評価益		
3.	受取助成金等		
	沼津市助成金		
	その他助成金		
4.	事業収益		
5.	その他収益		
	受取利息		
	雑収益		
	経常収益計		166,000
II	経常費用		
1.	事業費		
	(1) 人件費		
	給料手当		
	法定福利費		
	退職給付費用		
	福利厚生費		
	人件費計		
	(2) その他経費		
	会議費	420	
	旅費交通費	7,380	
	通信費	36,373	
	消耗品費	0	
	会場賃借料	2,500	
	外注費（講師委託料）	0	
	その他経費	0	
	事業費計	46,673	46,673
2.	管理費		
	(1) 人件費		
	役員報酬		
	給料手当		
	法定福利費		

退職給付費用			
福利厚生費			
人件費計			
(2) その他経費			
会議費	0		
消耗品費	0		
事務用品費	2,030		
広告費	0		
事務委託費	30,000		
支払手数料	712		
管理費計	32,742	32,742	
経常費用計			79,415
当期経常増減額			86,585
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益			
経常外収益計			
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			86,585
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			86,585
前期繰越正味財産額			▲ 230,034
次期繰越正味財産額			▲ 143,449

(注) 重要性が高いと判断される用途等が制約された寄付金(対象事業等が定められた補助金等を含む)を受け入れた場合は、「一般正味財産の部」と「指定正味財産の部」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

(一般正味財産増減の部)

I 経常収益

1. 受取寄附金

受取寄附金振替額                    × × ×

.....

II 経常費用

2. 事業費

援助用消耗品費                    × × ×

.....

(指定正味財産増減の部)

受取寄附金                            ○ ○ ○

.....

一般正味財産への振替額

特定非営利活動法人 ACSアシストコミュニティ静岡 貸借対照表

平成31年3月31日現在

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	121,342		
前払費用	4,298		
.....			
流動資産合計		125,640	
2 固定資産			
土地			
建物			
.....			
固定資産合計		0	
資産合計			125,640
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	257,089		
前受け金	12,000		
.....			
流動負債合計		269,089	
2 固定負債			
長期借入金			
退職給与引当金			
.....			
固定負債合計		0	
負債合計			269,089
III 正味財産の部			
正味財産			-143,449
(うち前期正味財産)			(-230,034)
(うち当期正味財産増加額(減少額))			(86,585)
負債及び正味財産合計			-143,449

\* 1 定款上その他の事業の資産・会計区分がある法人は、その他の事業に固有の資産で重要なものがある場合には、その資産状況を注記として記載する。

2 財産目録等との整合性を図ること。

3 計算書類に注記を付している場合は、あわせて提出すること。

特定非営利活動法人 ACSアシストコミュニティ静岡 財産目録

平成31年3月31日現在

科 目		金 額 (単位：円)		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
現金	現金手許有高			
普通預金	スルガ銀行清水町支店	88,352		
普通預金	ジャパンネット銀行ビジネス営業部	32,990		
前払費用		4,298		
流動資産合計			125,640	
2 固定資産				
土地	〇〇所在〇平方メートル			
建物	〇〇所在〇平方メートル			
.....	.....			
固定資産合計			0	
資産合計				125,640
II 負債の部				
1 流動負債				
役員借入金				
預り金	職員に対する源泉所得税	257,089		
前受金		12,000		
流動負債合計			269,089	
2 固定負債				
長期借入金	〇〇銀行〇〇支店			
退職給与引当金	.....			
.....	.....			
固定負債合計			0	
負債合計				269,089
正味財産				-143,449

\* 1 定款上その他の事業の資産・会計区分がある法人は、その他の事業に固有の資産で重要なものがある場合には、その資産状況を注記として記載する。

2 貸借対照表等との整合性を図ること。